

「勿体ない」ほどのくらい？

東久留米市立南中学校 二年四組

村山 麗奈

「暑い！」

真夏の太陽の光がジリジリと当たると、学校
から家までの帰り道で私の頭の中では、
「暑い！」
とこの言葉が繰り返されます。そして家に帰
ると、誰も居ない時は冷房もついていません。
そんな日は冷房をつけておいてもすぐに涼し
くはなりません。なので私は真先に、お風呂

呂へ向かいます。暑さで限界に達した私は勿
体ないと感じていて、自分も自分が風呂に入る準
備をすそ一分程、シャワーの一番低い温度で、
蒸し暑くはなつた風呂場を冷やしてしまいます。
私は勿体ないこととは知っていてもどのくら
い勿体ないのかと調べよう機会がばく、知りま
せんでした。
そこで、私は自分の生活の中で、勿体ない
と感じているものがある、どのくらい無駄にな
っているのか、また、どのくらい節水できるの

かを、この機会に調べてみようと考えました。

まず、先程述べた、一分間シャワーを出し

続けること、どのくらいの水が出るのかを調べ

ました。すると、約12リットルの水が出てい

ると分かりました。私は、いつも一日かけて

飲んでいいる水筒の12倍が、たゞの一分で流

れていになんて、と驚きました。このことを

知る前は、一分ならどこまで水は出ていない

だろう、と思っていました。たゞ、一分、と

思っていました。12リットルも水が出ており、私

は今までどれだけ水を入切にしてこなかっ

たのだろうと感じました。去年もこの作文を書

き、水に対する意識が増えたと思っていました

に。しかしその意識は、とても浅はかばもの

だ。たと思ひ知らされました。そのために、私

はその一分間シャワーを出す事を辞めようと

思いました。が、暑さを我慢する二とは良くな

いと感じ、我慢せずに節水できる方法はない

のか、と考えました。そして私は浴槽に冷た

い水と貯めながら、風呂場を冷やす方法を考

えましました。このようにすることでも水風呂に入ることもができて、水も無駄にひらぶ、良い方法だと思います。何事も我慢は長くはないため、節水に関しても我慢せず、きちんと節水していくことが大切だと感じました。

私は、手動の蛇口で石けんを使っ、て手はじを洗う時、手を洗う間、水を止めずに流したままにしてしまいう時があります。この行動は間違っていると思います。手を洗うと手全体に石けんが付き、手で蛇口をひねろうとすると蛇口に付いた石けんを落とすために水を流して、蛇口に付いた石けんが落ちて、蛇口の取り手に付いた石けんが綺麗に流れるまでの時間を比べてみることにしました。可なり、私が予想していたより、大差はないと言っ、ても2秒間です。出る水の量を流す方が水を出す時間が短く済みまし、た。

量を調べると約400リットルの水が出ると分かりました。私はこの結果を踏まえ、今までの自分の行動を改め、手を洗っている間はしっかりと水を止めて、少しでも水を大切にしていこうと思います。

水はとても大切で、限りある資源です。今

日本では水は沢山ある、と感じるかもしれませんが

せんが、世界には水が足りず、困っている人

達が大量の水を使っています。少しでも水を大切に使う

いくことで、それが一人でも一年続けると

でも大きな節水になります。世界中の人々が大切に水を使うことができていなら、世界に大きな影響を与えられると私は思います。